

芳泉学区福田町内会が実施した地震時の図上防災訓練(DIG)支援を行いました。

5月24日(土)に岡山市南区の芳泉学区福田町内会が主催し、実施された地震時の図上防災訓練(DIG)について、岡山河川事務所はDIG訓練の支援を行いました。

訓練は、町内会の役員の方を中心に約70名が参加し、6つのグループに分かれて、今後発生が想定されている南海地震での当地区の震度や、液化化のエリア、津波で浸水するエリア等を確認したほか、災害時に市から指定されている避難場所への避難方法を確認し、ルート等の確認を地図に記入しました。

訓練の参加者は、DIG訓練を行ったことがない方ばかりで、岡山河川事務所の職員がグループの中に入り、地図の作成方法や注意すべき点、質問等に答えるなどの支援を行いました。

訓練の参加者からは、「避難場所に行くまでの道路に併走して用水路が流れているが、ガードレール等の転落防止の柵が必要」、「公園がなく一時的な避難をする場所がないため公園を設置して欲しい」等の要望や「避難を行うのに海側の道を通るより、標高が高く耐震対策が出来ていると思われる国道2号をまわった方が安全ではないか」といった意見が出されました。

岡山河川事務所では、地震災害だけでなく、洪水による災害を想定した図上防災訓練(DIG)も実施しており、これからも各団体から要請があれば積極的に支援を行うこととしています。



会場内の様子



岡山市が公表している津波の到達範囲を確認



地図に主要となる道路、防災施設、液化化の範囲、津波の到達エリア等を記入



記入した情報を見ながら避難するにどういった問題があるか等、メンバーで討議

訓練の様子